

夢を叶える税金

久慈市立久慈中学校3年 桝屋 慎太郎

僕は陸上部でハーダルを専門種目としています。先日は中学校最後の県中総体があり、設備の整った陸上競技場でこれまでの練習の成果を発揮して、三位入賞を果たしました。高校では、中学校で届かなかった全国大会に出場することが目標です。また、僕は来年高校に進学しますが、目標とする県立高校を目指し、夏休みから受験勉強に取り組んでいます。高校でも一生懸命勉強し、父と同じ国立大学医学部に進学し、医師として社会に貢献することが僕の夢です。

夏休みに税について考えたり勉強していると、先日走った陸上競技場も、僕の目指す高校も大学も全て税金のおかげで成り立っていることに気付きました。そう考えると、先日の国会議員選挙で野党各党が消費税の減税や廃止を公約に掲げ、ニュースでも議論になり、心配になりました。税収の内訳を見ると消費税が税収全体の約三割に及ぶからです。もし消費税が廃止されたら、この分の財源は何で補われるのでしょうか。ガソリン税の減税についても現在検討されていますが、これにより年間一兆円以上の減収が見込まれると聞きました。消費税やガソリン税が減税や廃止になれば、目先のことだけを考えると家計も助かると思います。一方で、減税分の財源を確保するための別の増税負担が必要になるのではないか、年金や医療介護などの社会保障にしわ寄せがいくのではないか、僕たちの将来の生活はどうなるのかなど、不安が頭に浮かびます。僕は減税イコール国民の幸せではないと思います。

僕は選挙権はありませんが、今回「税についての作文」を書くことで選挙権のない子供の意見にも耳を傾けるきっかけになってほしいと思いました。僕たちが夢を抱き、その夢に向かって安心した生活を送りながら努力するために必要なことは、減税なのでしょうか。減税よりも、安定した税収による安心の未来の方が必要だと僕は思います。そして減税よりも優先すべきは、税収の使い道を議論することなのではないかと思います。

僕は今回この作文を書くことで、税金が現在の生活だけではなく、自分の抱く夢や未来にとっていかに大切なものがを考えるきっかけとなりました。目先の利益ばかりにとらわれず、税の本質を理解し、「日本の明るい未来のための税のあり方」を一人一人が慎重に考えていくことが大切だと思います。

僕は絶対夢を叶えて、税について深い理解のもと、納税していく大人になりたいと強く思います。そのことが、僕たちの次の世代の子どもたちが夢や未来への希望を持って生活していくことにつながるのではないかでしょうか。